

佐々木隆「シェイクスピアの人間理解——ハムレット——」

ハンドアウトの内容

- 1 シェイクスピアの生涯(年表)
- 2 『ハムレット』梗概
- 3 シェイクスピア映画小史
- 4 『ハムレット』映像リスト
- 5 ハムレット映像 “To be or not to be — that is the question.” の場面
- 6 日本における『ハムレット』上演史(抄)
- 7 翻訳にみる “To be or not to be — that is the question.”
- 8 参考文献

『シェイクスピアの人間理解——ハムレット——』
『ハムレット』の「生か死か、それが問題だ」の台詞を
中心に、台詞・言葉・映像からハムレットの心の内を探っ
て行きたい。特に映画においては映像・音楽なども大きく
効果を持っていることも紹介したいと思う。同じ作品も監
督や演出家が異なる心内を知ることが「他者理解」につな
がるのではないだろうか？3幕1場の台詞を手掛かりに
悩めるハムレットに迫ります。



1 シェイクスピアの生涯 (年表)

- 1558年 ○ エリザベス一世即位。
 1564年 4月23日、ウィリアム・シェイクスピア誕生。4月26日に洗礼を受けたことから、当時の習慣から4月23日誕生とされている。
 ○ クリストファー・マローウ誕生。
 ○ ガリレオ誕生
 ○ ミケランジェロ没。
 1571年 グラママー・スクールに入学。
 1576年 ○織田信長、安土城築城し、入城。
 1580年 11月27日、8歳年上のアン・ハサウェイと結婚。
 1583年 6月下旬に長女スザンナ誕生。
 1585年 長男ハムネット、次女ジュデーアスの双子児誕生。
 1587年 この頃、ロンドンに上京。
 1588年 ○豊臣秀吉、刀狩。
 1592年 ○ロンドンで疫病がはやる。

作品の創作年代については下記をご覧ください。

- 1616年 4月23日、没。
 ○ 徳川家康没。

*シェイクスピアはエリザベス一世の時代、日本では織田信長、豊臣秀吉、徳川家康と同じ時代の人です。

シェイクスピア作

…この年表は著者による創作推定であつて、初演のそれではない。
 ・あくまでも創作時期の推定である。
 ・時作品は長編詩2篇と「ソネ

年	年齢	事	劇
1558		エリザベス一世即位	
1564		4.26 シェイクスピアの受洗 記載(誕生日は一般に4.23 とされている) ロンドン北郊にイギリス最初の の演劇専門劇場開場 この頃ロンドンに上京か?	
1576	12		まぢがいの喜劇 じゃじゃ馬ならし/恋の骨折り損 ウエローナの二紳士 真夏の夜の夢
1587	23		
1590	26		
91	27		
92	28		
93	29		
94	30		
95	31		
96	32		
97	33		
98	34		
99	35		
1600	36	グループ座開場	ヴェニスの商人/ウィンザーの 陽気な女房たち から騒ぎ お気に召すまま 十二夜
01	37		
02	38		
03	39	3.24 エリザベス一世死去 ジェームズ一世即位	終わりよければすべてよし 凡には尺を
04	40		
05	41		
06	42		
07	43		
08	44		
09	45		
11	47	この頃帰郷か?(12年5月に ストラットフォードの住人 であつたことは確実) 6.29 グローブ座焼失 4.23 シェイクスピア死去(4. 25埋葬)	ペリクリース シンペリン 冬の夜はなし/あらし
13	49		
16	52		
23		シェイクスピアの最初の戯曲 全集出版	
42		9.2 革命議会、演劇興行禁止 令を公布	

品創作推定年表

定年表である。
 あつて、初演のそれではない。
 ・時作品は長編詩2篇と「ソネ

年	時	劇	歴史劇
1558			
1564			
1576			ヘンリー六世3部作 リチャード三世
1587			ジョン王 リチャード二世
1590			ヘンリー四世第1部 ヘンリー四世第2部
91			ヘンリー五世
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
1600			
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09			
11			
13			
16			
23			
42			

作品の創作年代は大場建治『シェイクスピアを観る』(岩波新書、2002)より。

重要作品

ハムレット Hamlet (1600-01)

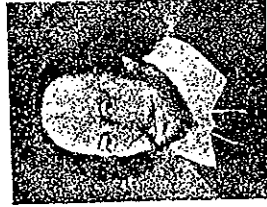
シェイクスピア作 (5幕) 悲劇

1600年から1601年頃の作と考えられ、出版は1603年の悪版 (Bad Quarto) が最初であった。04年の版 (Second Quarto) が貴重とされるが、1623年のフォリオ初版 (First Folio) にも異同がある。原話は12世紀のデンマーク伝説で、16世紀にフランスの物語集に取り入れられ、これにもとづいて恐らくトマス・キップが「原ハムレット」 (*der Ur-Hamlet*) を書き、現存しないこの作品をシェイクスピアが改作して、世界最大の悲劇を書き上げたと推定されている。主人公のハムレットはコルリッジやゲーテのような浪漫的批評家によって理想的な青白い知性人とみられる解釈がおこなわれていたが、今世紀の批評では行動的な面を重くみ、典型的なルネサンスの人間像として再把握されている。英国はもとより世界各国で最高の上演回数数を誇っている。

梗概 デンマークの王子ハムレットは、父王が急死したのち、母親のガートルードが叔父のクロロディアスと再婚したので、いい知れぬ悲しみに沈んでいる。戴冠式をすませて王座についたクロロディアスが、王妃ガートルードの手をとって退席すると、ただひとり喪服姿でいるハムレットの口から、有名な「もろき者よ、なんじの名は女だ」という句を含む第1独白が、怒りと悲しみをともなってどっとあふれるように流れ出る。そこへ親友のホレイシヨが来て、父王の亡霊を見たと言及する。不吉な予感がして夜警に立ったハムレットの前に父王の亡霊が現われ、クロロディアスに毒殺されて王位も王妃も奪うべしと語り、ハムレットに復しゅうを誓わせる。ハムレットは復しゅうを成就するため狂気を装い、確かな証拠をつかむために宮廷へ来た旅役者に父王毒殺に似た場面をクロロディアスの前で演じさせ、叔父の反応を観察することにした。

一方、ハムレットが狂気のふりをして、愛するオフィリアの前に現われたのを、重臣ポロニアスは、娘に対する恋ゆえの狂気だと王に進言する。王はそれを確かめるためにオフィリアとハムレットを会わせ、ふたりの対話を立ち聞きすることにした。そこへハムレットが登場し、「生きるか、死ぬか、それが問題だ」という感傷的な独白を語り、おとりに使われているオフィリアに対して「尼寺へ行け」と何度もくりかえす。

やがて芝居が上演されると、クロロディアスは毒殺の場面を見るにしのびず、席を立った。ハムレットは王妃の寝室で罪深い母を責め、幕のかげにかくれていたポロニアスを叔父と間違えて刺殺した。身の危険を感じた王はハムレットを英国へ送って殺そうと計ったが、ハムレットはそれを見抜いて帰国する。王は、気が狂って水死したオフィリアの兄レアティーズに、毒をぬいた剣を持たせてハムレットと戦わせ、ハムレットは驚つて計略を知って王を毒剣で刺して復しゅうをとげたのち、全身に毒がまわって死ぬ。



シェイクスピア ウィリアム
William Shakespeare (1564—1616)

劇作家・詩人
世界最大の劇作家。エリザベス朝の英国が生んだ世界最大の劇作家。父、エリザベス朝の他の作家に比べるべきところ、今ではかなりよく知られるようになる。シェイクスピアの父であるジョーンは農家の子で、今ではかなりよく知られるようになる。シェイクスピアの父であるジョーンは農家の子で、今ではかなりよく知られるようになる。シェイクスピアの父であるジョーンは農家の子で、今ではかなりよく知られるようになる。

シェイクスピアの伝記に関しては、資料が乏しいため正確にわかっていないことが多いが、学者の熱心な努力によって、エリザベス朝の他の作家に比べるべきところ、今ではかなりよく知られるようになる。シェイクスピアの父であるジョーンは農家の子で、今ではかなりよく知られるようになる。シェイクスピアの父であるジョーンは農家の子で、今ではかなりよく知られるようになる。

28才で劇壇に登場し、彼の数学程度を示す詩集として有名な『1591年』、8才上の女アン・ハサウェイと結婚し、5ヶ月後に長女ジュリアンが生まれ、85年には双子児である長男ハムレットと次女ジュリアスが生まれた。これ以後約10年間にわたる消息がとどいていないので、シェイクスピアがいつロンドンへ出て来て、どのような経歴をたどったのかは不明である。鹿園の腰を盗んだのが発覚して故郷にいらなくなかったという伝説や、ロンドンの劇場に雇われて観客の馬番をしていたという説などもある。

20年間に37篇の戯曲と2篇の長詩、154篇のソネット集の他数種の詩を書き、宮内大臣一隊の専任作者兼俳優として成功し、劇団の幹部、グローブ座の株主として盛をなし、故郷に大邸宅と耕地を購入し、晩年のロマンス劇を書いた頃から1616年4月23日に52年の生涯を閉じるまで、ストラットフォードに選んで住んだ。死後7年、1623年には友人たちの手によりフォレリオ (2つ折) 版の全集が出版された。

シェイクスピアの劇作活動 (Edward Dowden, 1843—1913) が著書『シェイクスピアの劇作活動』(1877) において試みて以来、シェイクスピアの創作活動を人格的発展の過程において、大体4期に分けて考えるのが常識となっている。

その第1期 この時期は、製作時代で、史劇をはじめ初期の喜劇や悲劇が書かれたが、主として喜劇に重点がおかれている。喜劇におけるリリィ、悲劇におけるキッ

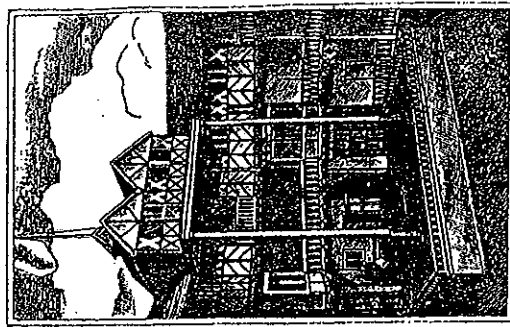
ドの影響が多く主として先導英雄の時代とされており、内容・形式ともに若々しく華やかであるが、まだ熟していない点も多い。この時期の主な作品には、「間違いつづき」、「恋の骨折傷」、「ヴェローナの二紳士」、「ジャッコ馬馴らし」などの喜劇、「タイタス・アンドロニカス」と「ロミオとジュリエット」の悲劇、「ヘンリー六世」3部作や「リチャード三世」、「リチャード二世」などの英国史劇がある。

その第2期 この時期は、作者の人間観察が一段と深まり、劇作の技術にも進境が示され (1590—1600) られ、ロンドンの劇場で中心的地位を占めるようになった時期で、「ヴェニスの人恋」 むだ探さき」 「お氣に召すまま」 「十二夜」といった愛と幸福をテーマにした円熟した喜劇の傑作が書かれたほか、「ジョン王」、「ヘンリー四世」2部作、「ヘンリー五世」などの史劇も書き、特にローマ史を劇化した悲劇「ジュリアス・シーザー」は次の悲劇時代の前兆となった。

その第3期 悲劇時代と呼ばれ「ハムレット」、「オセロ」、「マクベス」、「リア王」の4 (1601—09) 大傑作をはじめとする重要な作品が書かれた時期で、人生の暗黒の探求を極限し、プロットよりも性格が、行為よりも思想が、劇的機能を発揮して、人間精神の内面的葛藤が作者の興味を中心になっている。「コリオレイナス」、「アントニーとクレオパトラ」などの悲劇、「羨わりよければすべてよし」や、「以尺蠖尺」の暗い喜劇も書かれた。

その第4期 この時期は、ロマンス劇と呼ばれ (1610—12) れる作品が書かれた創作活動の最後の時期で、喜びも悲しみもまわつてくし、理想と愛情をもって人生のすべてを救っている平等で老練した心境がみられる。主な作品は「シムベリーン」、「冬の夜はなし」、「あらし」である。

シェイクスピアの劇作態度は「自然に創作態度の特異 傑をかかげる」というハムレットの言葉に表われており、コウリッジのいわゆる「百万の心をもった」この作者は多様な人間像が織りなす喜怒哀楽に満ちた人生の姿を、深い洞察力と詩的精神と具事な創作態度をもって舞台上に写し出している。そして初期の作品からロマンス劇に至るまで一貫して作者のあたたかい寛容の精神が基礎になって、美しい魂の世界をつくりあげている。



シェイクスピア時代の劇場 (グローブ座復元図)

3. シェイクスピア映画小史

1895年(明治28) リュミエール兄弟、スクリーン上に動く写真像を映して見せるシネマトグラフを発表。

* 映写して興行の形をとった最初の「映画」の誕生とする説が強い。

1896年(明治29) シネマトグラフ、日本に輸入。

1899年(明治32) ハーバート・ピアボウム・トゥリー主演の『ジョン王』。

* 最初のシェイクスピア映画。

1927年(昭和2) アル・ジョルス主演の『ジャズ・シンガー』。

* トーキー映画としての初めての公開。

1929年(昭和4) ダグラス・フェアバンクス、メリア・ピックフォード主演の『じゃじゃ馬ならし』。

* トーキー初のシェイクスピア映画

1931年(昭和6) チャップリンの『街の灯』。

1936年(昭和11) ロンドンでテレビ放送開始。

1936年(昭和11) パウル・ツインナーの『お気に召すまま』。

* ローレンス・オリヴィエがオランダ役で出演。

1944年(昭和19) ローレンス・オリヴィエの『ヘンリー五世』。

1948年(昭和23) ローレンス・オリヴィエの『ハムレット』。

* 1948年度のアカデミー作品賞、主演男優賞、美術監督賞、装置賞、衣装デザイン賞の5部門を受賞。

1948年(昭和23) オートン・ウェルズの『マクベス』。

1953年(昭和28) NHK放送開始。

1953年(昭和28) ジョーゼフ・L・マンキヤヴィッチの『ジュリアス・シーザー』。

1953年(昭和28) ジョージ・シドニーの『キス・ミー・ケイト』。

* 『じゃじゃ馬ならし』のミュージカルの映画化。

1954年(昭和29) レナート・カステラーニの『ロミオとジュリエット』。

1955年(昭和30) ローレンス・オリヴィエの『リチャード三世』。

1955年(昭和30) セルゲイ・ユトケヴィッチの『オセロ』。

1955年(昭和30) オートン・ウェルズの『オセロ』。

1956年(昭和31) アメリカのアペンタックス社によってビデオが開発される。

1957年(昭和32) 黒澤明の『蜘蛛巣城』。

* 『マクベス』の翻案。

1960年(昭和35) 日本のテレビ放送、カラー化される。

1960年(昭和35) 黒澤明の『悪い奴ほどよく眠る』。

* 『ハムレット』の翻案。

1961年(昭和36) ロバート・ワイズ、ジェローム・ロビンスの『ウェスト・サイド物語』。

* 『ロミオとジュリエット』の現代ニューヨーク版のミュージカル。

1964年(昭和39) グリゴリ・コジンチェフの『ハムレット』。

1965年(昭和40) スチュアート・バージの『オセロ』。

1965年(昭和40) オートン・ウェルズの『深夜の鐘』。

1966年(昭和41) フランコ・ゼッフィレリの『じゃじゃ馬ならし』。

1969年(昭和44) スチュアート・バージの『ジュリアス・シーザー』。

1970年(昭和45) グリゴリ・コジンチェフの『リア王』。

1971年(昭和46) ローマン・ポランスキーの『マクベス』。

1971年(昭和46) チャールトン・ヘストンの『アントニーとクレオパトラ』。

1975年(昭和50) ソニーがベーター方式のビデオを開発。

1976年(昭和51) 日本ビクターがVHS方式のビデオを開発。

1978年(昭和53) BBCによるテレビ版シェイクスピア、イギリスで放映。

1979年(昭和54) デレク・ジャーマンの『テンペスト』。

1980年(昭和55) BBCによるテレビ版シェイクスピア、日本で放映。

1981年(昭和56) パイオニアがレーザーディスクを開発

- 1 1982年(昭和57) ポール・マザースキーの『テンペスト』。
 - 1 1983年(昭和58) マイケル・エリオットの『リア王』。
 - 1 1983年(昭和59) セレスティノー・コロナードの『真夏の夜の夢』。
 - 1 1985年(昭和60) 黒澤明の『乱』。
- * 『リア王』の翻案。
- 1 1986年(昭和61) フランコ・ゼツファイレリの『オテロ』。
 - 1 1989年(平成1) ケネス・ブラナーの『ヘンリー五世』。
 - 1 1990年(平成2) フランコ・ゼツファイレリの『ハムレット』。
 - 1 1991年(平成3) ピーター・グリーナウエイの『プロスペローの本』。
 - 1 1993年(平成5) ケネス・ブラナーの『から騒ぎ』。
 - 1 1995年(平成7) リチャード・ロンクレインの『リチャード三世』。
 - 1 1995年(平成7) ケネス・ブラナーの『世にも憂鬱なハムレットたち』。
 - 1 1996年(平成8) ケネス・ブラナーの『ハムレット』。
 - 1 1996年(平成8) アル・パチーノの『アル・パチーノのリチャードを探して』。
 - 1 1996年(平成8) トレヴァー・ナンの『十二夜』。
 - 1 1998年(平成10) ジョン・マッデンの『恋におちたシェイクスピア』。
 - 1 1999年(平成11) マイケル・ホフマンの『真夏の夜の夢』。
 - 1 1999年(平成11) ケネス・ブラナーの『恋の骨折り損』。

4. 『ハムレット』映像リスト (V=ビデオ、L=レーザー・ディスク)

題名	制作年・国	監督等	主な配役	発売元等
生きるべきか死ぬべきか (関連映画)	1942年 アメリカ	エルンスト・ルビッチ監督	マリア・トウラ キヤロ ル・ロンバート	字幕スーパー 日本クラウン
生きるべきか死ぬべきか (関連映画)	1942年 アメリカ	エルンスト・ルビッチ監督	マリア・トウラ キヤロ ル・ロンバート	字幕スーパー アイ・ヴィー・シー
ハムレット	1948年 イギリス	ローレンス・オリヴィエ制作・監督	ハムレット ローレンス・ オリヴィエ	字幕スーパー 東北新社
ハムレット	1948年 イギリス	ローレンス・オリヴィエ制作・監督	ハムレット ローレンス・ オリヴィエ	字幕スーパー CBSソニーグループ
ハムレット	1948年 イギリス	ローレンス・オリヴィエ制作・監督	ハムレット ローレンス・ オリヴィエ	字幕スーパー 創美エンタテイメント
ハムレット	1948年 イギリス	ローレンス・オリヴィエ制作・監督	ハムレット ローレンス・ オリヴィエ	字幕スーパー 東北新社
悪い奴ほどよく眠る	1960年 日本	黒澤明制作・監督	西幸一 三船敏郎 板倉 加藤武	モノクロ 151分 東宝
悪い奴ほどよく眠る	1960年 日本	黒澤明制作・監督	西幸一 三船敏郎 板倉 加藤武	モノクロ 151分 東宝
ハムレット	1964年 ソ連	グリゴリ・コジンツェフ監督・脚 色	ハムレット イリケヴィ ・スモクトゥノフスキー	字幕スーパー 東宝
ハムレット	1969年 アメリカ	ニール・ハートリー制作 トニー・リチャードソン監督	ハムレット ニコル・ウイ リアムソン	字幕スーパー カラー ソニー・ピクチャーズ
ハムレット	1980年 イギリス	セドリック・メシーナ制作 (The BBC Shakespeare Plays)	ハムレット デレク・ジャ コビ	カラー 216分 NHKサービスセンター
ハムレット	1980年 イギリス	セドリック・メシーナ制作 (The BBC Shakespeare Plays)	ハムレット デレク・ジャ コビ	カラー 216分 丸善
ハムレット	1988年 日本	むうぶ・おん制作 原徹郎構成演出	ハムレット 風間杜夫 オフィーリア 平沢智子	カラー 90分 むうぶ・おん 1988年8月、東京グローブ座公演
ハムレット	1990年 アメリカ	フランコ・ゼッファイレリ監督	ハムレット メル・ギブソ ン	字幕スーパー カラー ソニー・ピクチャーズ
ハムレット	1990年 アメリカ	フランコ・ゼッファイレリ監督	ハムレット メル・ギブソ ン	字幕スーパー カラー パイオニアLDC
ハムレット	1990年 アメリカ	フランコ・ゼッファイレリ監督	ハムレット メル・ギブソ ン	字幕スーパー カラー ソニー・ピクチャーズ
ハムレットの時間	1990年 日本	加藤直台本・演出 林光・萩京子作曲 高橋康也監修	ハムレット 大石哲史 オフィーリア 竹田恵子	オペラシアター 1990年5月、俳優座劇場公演
ハムレット (アニメ)	1993年 7月 日本	高橋康也監修	ロイヤル・シェイクスピア 劇団員が声の出演	字幕スーパー カラー FCI
ローゼンクランツとギル デンスターンは死んだ	1990年 アメリカ	トム・ストッパード監督・脚本	ローゼンクランツ ゲイリ ー・オールドマン	字幕スーパー カラー ポニー・キャニオン
ローゼンクランツとギル デンスターンは死んだ	1990年 アメリカ	トム・ストッパード監督・脚本	ローゼンクランツ ゲイリ ー・オールドマン	字幕スーパー カラー ポニー・キャニオン
ローゼンクランツとギル デンスターンは死んだ	1990年 アメリカ	トム・ストッパード監督・脚本	ローゼンクランツ ゲイリ ー・オールドマン	字幕スーパー カラー NECAベニュー
世にも憂鬱なハムレット たち	1995年 イギリス	ケネス・ブラナー監督	ローゼンクランツ ゲイリ ー・オールドマン	吹き替え カラー ポニー・キャニオン
ハムレット	1996年 イギリス	ケネス・ブラナー監督	ハムレット ケネス・ブラナー	字幕スーパー カラー アスミ/東和
ハムレット	1996年 イギリス	ケネス・ブラナー監督	ハムレット ケネス・ブラナー	字幕スーパー カラー 東和

音楽記録映画 ショスタコフヴィッチ	1967年 ソ連	ゲンデルシユタイン監督・脚本	⑤ハムレット	字幕スーパー 東映ビデオ	モノクロ 60分
音楽記録映画 ショスタコフヴィッチ	1967年 ソ連	ゲンデルシユタイン監督・脚本	⑤ハムレット	字幕スーパー ニホンモニター	モノクロ 60分

5. ハムレット映像 “ To be or not to be—that is the question.” の場面

	ハムレット 1948年 イギリス 153分	ハムレット 1964 ソ連 150分	ハムレット 1990 アメリカ 128分	ハムレット 1996 イギリス 243分
監督	ローレンス・オリヴィエ (1907-1989)	グリゴリ・コジンツェフ (1903-1973)	フランコ・ゼッフィレッリ (1923-)	ケネス・ブラナー (1960-)
ハ	ローレンス・オリヴィエ	イリナ・セドワワキ	メル・ギブソン	ケネス・ブラナー
	モノクロ 『ヘンリー五世』、『リチャード三世』なども映画化している。本格的なシェイクスピアに取り組む。『ハムレット』映画の原点とも言える映画です。	モノクロ 『リア王』も映画化している。音楽はショウスタークービーツ。ソ連を代表するシェイクスピア映画。	カラー ゼッフィレッリ監督は『ロミオとジュリエット』、『オテロ』なども映画化している。	カラー 台詞はノーカット。その為、上映は4時間以上に及ぶことになった。上映でも休憩が入る。ビデオでは2本組。『ヘンリー五世』、『から騒ぎ』、『恋の冒折り損』、『世にも憂鬱なハムレットたち』なども映画化。
背景	外 城の上 海 (波の様子)	外 城の周辺 海 (波の様子)	墓 (霊廟) 城の周辺 海 (波の様子)	宮廷内 鏡 (マジック・ミラー)
台詞	どのように独白しているか? (途中からボイス・オーバー)	どのように独白しているか? (ボイス・オーバー)	どのように独白しているか?	どのように独白しているか?

6. 日本における『ハムレット』上演史(抄)

年月	題名	翻訳・演出等	劇団・製作・主催	主な配役:その他	劇場
H. 1. 1/19-23 [1989]	ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ	ストッパード原作 倉橋健訳 志賀廣太郎演出	カジュアルハウ ス・ステージ	ローゼンクランツ 長谷川秀人 ギルデンスターン 楠巳晃平	明石スタジオ
H. 1. 1/28-29	ハムレットの新聞 [ダンス]	佐藤信演出 竹屋啓子振付	竹屋啓子CDC	若松武 森田守恒	東京グローブ座
H. 1. 3/24-30	ハムレット	小田島雄志訳 原徹郎演出	むうぶ・おん	ハムレット 風間社夫 オフィーリア 平沢智子	シアター・アプル
H. 1. 4/28	ハムレット	木下順二訳 荒井良雄朗読	朗読シェイクスピア 全集		岩波シネサロン
H. 1. 5/18-21	ハムレット	小田島雄志訳 遠藤栄蔵演出	板橋演劇センター	ハムレット 鈴木吉行 オフィーリア 国吉幸子	板橋区立文化会館
H. 1. 7/5-9	ハムレット [オペラ]	トマ作曲 高橋英郎訳 ペーター・ストルマーレ演出	東京グローブ座	ハムレット 大島幾雄 オフィーリア 斉田正子	東京グローブ座
H. 1. 7/19-30	ハムレット	福田恆存訳 末木利文演出	木山事務所	ハムレット 市川染五郎 オフィーリア 水野ゆふ	俳優座劇場
H. 1. 11/23, 25	ハムレット [オペラ]	トマ作曲 高橋英郎訳 ペーター・ストルマーレ演出	東京グローブ座	ハムレット 大島幾雄 オフィーリア 斉田正子	東京グローブ座
H. 1. 11/28- 12/2	ハムレット	リチャード・アイアー演出	ロイヤル・ナシヨ ナル・シアター	ハムレット ジェレミ・ノーム クローディアス ジョン・キャッスル	東京グローブ座
H. 2. 2/4-26 [1990]	ハムレット	福田恆存訳 木村光一演出	松竹	ハムレット 片岡孝夫 オフィーリア 黒木瞳	日生劇場
H. 2. 2/8-23	BROKEN (暴君) ハムレット	上杉祥三演出	上杉祥三プロデュ ース	羽無劣人 上杉祥三 近衛浅茅 西山水木	下北沢本多劇場
H. 2. 3/17-22	フォーティンブラス	横内謙介作・演出	善人会議	有馬自由 六角精児	紀伊國屋ホール
H. 2. 3/23- 4/21	ハムレット	ユリー・リュビーモフ演出	銀座セゾン劇場	ハムレット ダニエル・カウフ オフィーリア ヴェロニカ・スマート	銀座セゾン劇場
H. 2. 4/20-22	ハムレット	内藤裕敬脚本・演出	南河内万蔵一座	河野洋一郎 味楽智三郎	水戸芸術館ACM 劇場
H. 2. 5/8-12	ハムレット	渡辺守章訳・演出	東京グローブ・カ ンパニー	ハムレット 野村武司 オフィーリア 野口早苗	東京グローブ座
H. 2. 5/11-20	ハムレットの時間 [オペラ]	加藤直台本・演出 林光・萩京子作曲	オペラシアターこ んにやく座	ハムレット 大石哲史 オフィーリア 竹田恵子	俳優座劇場
H. 2. 5/17- 6/13	ハムレット	ベリアコヴイチ演出	モスクワ・ユゴ ザーパト劇場	ハムレット V. アヴィーモフ	PARCO劇場
H. 2. 5/19-27	流山児ハムレット	流山児祥構成・演出	流山児★事務所	ハムレット 塩野谷正幸	下北沢本多劇場
H. 2. 7/28- 8/12	ハムレット	小田島雄志訳 片岡孝夫演出	松竹	ハムレット 村上弘明 オフィーリア 清水由加里	ベニサン・ピット
H. 2. 8/16-9/9	ハムレットIV	アンジェイ・ワイダ演出	ポーランド・スタ ーリ劇場	ハムレット T. ガブリア 知子 任シ・グワシ	東京グローブ座
H. 2. 9/27- 10/7	ハムレット	デ克蘭・ドネラン演出	チーク・バイ・シ ョウル劇団	ハムレット ティモシー・カ オニーア キャリン・グロブナー	東京グローブ座
H. 2. 10/12-14	ハムレット	宮崎聰構成・演出	ミヤザキトシ・ブ ロデュース	ハムレット 杉本幸司 オフィーリア 美加里	青山田形劇場

年月	題名	翻訳・演出等	劇団・製作・主催	主な配役:その他	劇場
H. 2. 10/12-14	デンマーク王子ハムレットの悲劇	広田豹制作総指揮	天下の!栃木屋	ハムレット 広田豹 オフィーリア 青木美佳	アトリエ・フォン テーヌ
H. 2. 10/12-15	平成ロッキーマシン	高林幸兵脚本・演出	平成元年	ハムレット 渡会良 オフィーリア 水野明美	文芸座ル・ピリエ
H. 2. 11/2-4	劇中劇中劇	栗原明志作・演出	Bishop	車(演出家) 東浩紀 笠松(画家) 笠松淳也	スタジオはるか
H. 2. 11/16-25	地球サイズのハムレット	伊東由美子作・演出	離風霊船	小村ア太郎 松戸俊二 えり子 山崎涼子	ハウスシアター
H. 2. 11/29-12/2	ハムレットマシーン	ハイナー・ミュラー作 ティエッツィ演出	イ・マガツイーニ	ハムレット伊藤 サンドロ・ロ ンバルディ	東京芸術劇場
H. 3. 1/19-20 [1991]	ハムレット [オペラ]	トマ作曲 高橋英郎訳 ベーター・ストルマルレ演出	東京グローブ座	ハムレット 大島幾雄 オフィーリア 小宮順子	パナソニック・グ ロープ座
H. 3. 5/2-6	ハムレット	伊藤漢脚本・演出	グループしぜん	ハムレット 鎌田久巳 父の亡霊 伊藤漢	ボレボレ座
H. 3. 5/19-26	ハムレットのための特別席	田窪一世脚本・演出	座・キューピー・ マジック	松井功 村上弥生	駅前劇場
H. 3. 5/29	ハムレット	中島淳一脚本・演出	中島淳一独り芝居		新宿シアターモリ エール
H. 3. 6/8-18	葉武列士倭錦絵	仮名垣魯文翻案 河竹登志夫 監修織田紘二演出	東京グローブ座 松竹	葉叢丸・美刈屋姫 市川染五郎 宮内晴貞 市川新車	パナソニック・グ ロープ座
H. 3. 7/18-22	平成ロッキーマシン	高林幸兵脚本・演出	平成元年	ハムレット 渡会良 オフィーリア 水野明美	文芸座ル・ピリエ
H. 3. 8/3-4	平面のハムレット	菅沼尚宏脚本・演出	ロフトアンドシア ター	小沼朝夫 田鍋謙一郎	ハリオホール
H. 3. 8/13	能ハムレット	宗片邦義演出	能シエイクスピア 研究会	ハムレット 宗片邦義	国立能楽堂研修舞 台
H. 3. 9/12-15	ハムレットの時間 [オペラ]	小田島雄志訳 加藤直演出	オペラシアターこ んにやく座	ハムレット 大石哲史 オフィーリア 竹田恵子	パナソニック・グ ロープ座
H. 4. 3/7 [1992]	BROKEN (暴君) ハムレット	上杉祥三脚本	一家団乱		群馬県生涯学習セ ンター他目的ホ ール
H. 4. 5/16-17	ハムレット	ラフォルグ原作 中島裕之演出	雄鶏座		芝青年会館
H. 4. 5/22-25	Hamlet of Hamlets	高林幸兵脚本・演出	平成元年	渡会良 水野明美	青山円形劇場
H. 4. 6/1-21	ハムレット	福田恆存訳 福田逸演出	昴	ハムレット 平田広明 オフィーリア 岡村恭子	三百人劇場
H. 4. 6/19-28	仮名手本ハムレット	堤春恵作 末木利文演出	木山事務所	由良之助(ハムレット) 藤木孝	伊優座劇場
H. 4. 7/22-8/2	ハムレット	ニール・スイッソン演出	コンパス・シアタ ー・カンパニー	ハムレット ホル・ライダ ー オフィーリア リーダー・マク ファー	パナソニック・グ ロープ座
H. 4. 9/5-8	ハムレットマシーン	Mt・ミコト作 鈴木純土演出	太虚	小田豊 わたなべあやこ	TAOシアタース タジオ
H. 4. 9/12-10/3	ハムレットマシーン	Mt・ミコト作 岩淵達治・谷川 道子訳 ヨーロ・ガラー 演出	東京演劇アンサン ブル	ハムレット 長畑豊 オフィーリア 益井すお美	ブレヒトの芝居小 屋

年月	題名	翻訳・演出等	劇団・製作・主催	主な配役:その他	劇場
H. 4. 9/12-10/3	ハムレット	小田島雄志訳 広渡常敏演出	東京演劇アンサンブル	ハムレット 本郷淳 ホレーショ 柳川光良	ブレヒトの芝居小屋
H. 4. 10/2-5	ハムレット	小田島雄志訳 門田公夫演出	ローゼの会	押切英樹 青木勇二	きゅりあん
H. 4. 10/10-24	青い鳥のハムレット	小田島雄志訳 芦川藍演出	青い鳥	天衣織女 大沢健	紀伊國屋ホール
H. 4. 10/23	ハムレットの時間	加藤直台本・演出 林光・萩京子音楽	オペラシアターこ んにゃく座	ハムレット 大石哲史 オフィーリア 竹田恵子	グリーンホール相模大野
H. 4. 11/20-29	ハムレット	高橋康也訳 ペーター・ストルマール演出	グローブ座カンパ ニー	ハムレット 上杉祥三 オフィーリア 長野里美	パナソニック・グ ローブ座
H. 4. 12/26-27	ハムレットドリーム	高津住男作・演出	樹間舎	役者達 諸岡青二、望月和伸、 岩井基素、沢村透	北沢タウンホール
H. 5. 1/6-8 [1993]	ハムレットドリーム	高津住男作・演出	樹間舎	役者達 諸岡青二、望月和伸、 岩井基素、沢村透	北沢タウンホール
H. 5. 1/14-24	BROKENハムレット'93	上杉祥三作・演出	加座カバ- 上杉祥三プロデュース	羽無劣人 上杉祥三 有栖川友規 円城寺あや	パナソニック・グ ローブ座
H. 5. 4/14-4/29	ハムレット	小田島雄志訳 佐藤信演出	シアターコクーン	ハムレット 小向日文世 オフィーリア 伊東由美子	シアターコクーン
H. 5. 6/17-7/11	くたばれハムレット	ラドニック作 松岡和子訳 綾田俊樹演出	加藤健一事務所	アンドリュ・ラリー 加藤健一 ティリ・ワグワイ 長野里美	下北沢本多劇場
H. 5. 7/4	ハムレットのひとりごと	川崎浩幸脚本・演出・朗読	川崎浩幸朗読劇		高村商店駐車場ト ラック劇場
H. 5. 7/15-19	ホレーショの憂鬱 ハムレッ トIII	高林幸兵台本・演出	平成元年	渡会良 高松誠	文芸坐ル・ピリエ
H. 5. 8/6-9/13	ベイ・シティ・ブルース	小池修一郎作・演出	宝塚歌劇団花組	ハーヴェイJr. 安寿ミラ レオナード 真先みき	宝塚大劇場
H. 5. 8/7-8	くたばれハムレット	ラドニック作 松岡和子訳 綾田俊樹演出	加藤健一事務所	アンドリュ・ラリー 加藤健一 ティリ・ワグワイ 長野里美	I MAホール(光 が丘)
H. 5. 9/22	ハムレット	多胡寿伯子演出・振付	ベラーム・ステ- ジ・クリエイト	上原澄子 高瀬浩幸	メルパルクホール (芝公園)
H. 5. 10/5-25	ハムレット	福田恆存訳 浅利慶太演出	四季	ハムレット 山口祐一郎 オフィーリア 野村玲子	東京芸術劇場
H. 5. 10/9-11	ハムレット	川崎浩幸脚色・演出	流星	安永三千代 落合まゆみ	アイス西武三軒茶 屋
H. 5. 12/2-26	ベイ・シティ・ブルース	小池修一郎作・演出	宝塚歌劇団花組	ハーヴェイ Jr. 安寿ミラ レオナード 真先みき	東京宝塚劇場
H. 6. 3/22-25 [1994]	さよならの贈り物ーハムレ ット殺人事件	うちやまきよつぐ作・演出	冒険物語	うちやまきよつぐ 高橋幸子	青山円形劇場
H. 6. 7/1-10	仮名手本ハムレット	堤春恵作 末木利文演出	木山事務所	市川菊蔵 藤木孝 守田勘弥 小林勝也	パナソニック・グ ローブ座
H. 6. 8/4-14	ハムレット	ロン・ダニエルズ演出	グローブ座カンパ ニー	ハムレット 平幹二朗 オフィーリア 小川敦子	パナソニック・グ ローブ座
H. 6. 8/4-14	ハムレット [演劇実験室]	J. A. シーザー構成・演出	万有引力	サルバドール・ダリ 水岡彰宏	下北沢本多劇場

年月	題名	翻訳・演出等	劇団・製作・主催	主な配役:その他	劇場
H. 6. 8/16-28	ローゼンクランツとギルデンスターン	トム・ストパード作 松岡和子訳 鶴山仁演出	博品館劇場		博品館劇場
H. 6. 9/14-22	ハムレットのための特別席	田窪一世作・演出	座・キュービー・マジック	杉田陽子 岡野佐多子	下北沢駅前劇場
H. 6. 10/26-30	ハムレット	高橋康也訳 彩乃木慕之脚本・演出	T. T. T.	ハムレット 菊地一浩	スタジオあくどれ
H. 6. 12/9	ハムレット	羽賀秀徳脚本・演出	岡村靖幸		銀座小劇場
H. 7. 1/24 [1995]	ハムレット	林兆華脚色・演出	北京人民芸術劇院	ハムレット 濮存晰	パナソニック・グ ローブ座
H. 7. 2/4-5	ハムレット 岡村靖幸MIX	羽賀秀徳脚本・演出	岡村靖幸		明治大学和泉校舎
H. 7. 3/6-23	フォーティンブラスーオー ジナルスマイルー	横内謙介作 岡村俊一・小池竹見演出	R・U・Pプロデ ュース	草▲剛 奥山佳恵	紀伊國屋ホール
H. 7. 4/11-23	ハムレット	高橋康也訳 ペーター・ストルマルレ演出	グローブ座カンパ ニー	ハムレット 上杉祥三 オフィーリア 長野里美	パナソニック・グ ローブ座
H. 7. 5/4-7	ハムレット	小田島雄志訳 遠藤栄蔵演出	板橋演劇センター	ハムレット 鈴木吉行 オフィーリア 末吉雅子	板橋区立文化会館
H. 7. 5/6-31	ハムレット	小田島雄志訳 ジャイルス・ブロッグ演出	松竹	ハムレット 麻美れい オフィーリア 羽野晶紀	サンシャイン劇場
H. 7. 6/23-25	ハムレットのための特別席	田窪一世演出	幻燈機	石澤陸美	STスポット
H. 7. 10/7- 11/8	ハムレット	松岡和子訳 蛭川幸雄演出	銀座セゾン劇場	真田広之 ハムレット 松たか子 オフィーリア	銀座セゾン劇場
H. 7. 10/15	フォーティブラス	横内謙介作 三山明男演出	キホーテ	中野和彦	宮本公民館
H. 7. 11/3-4	ハムレット	長野徹演出	原色マルチノ凶鑑	金子かおる	スフィアMEX
H. 7. 11/9-12	ハムレット	伊藤飛演出	竹内スタジオ・る つば	金羅美 菅野達也	るつばアトリエ
H. 8. 3/1-7, 8 [1996]	墓掘りたちのハムレット	岡本さとる脚本・演出	三都企画	仲本工事 高部知子	博品館劇場 テアトルフォンテ
H. 8. 3/13-24	夢、ハムレットの	福田善之作・演出	木山事務所	林次樹 五大路子	俳優座劇場
H. 8. 6/17-23	沢式ハムレット	沢竜二構成・演出	沢事務所	二宮さよ子 山田吾一	下北沢本多劇場
H. 8. 8/22-23, 8/31-9/1	ハムレット・メタル	飯島研作・構成・演出	DWAPS	加藤和久 きたつよし	パナソニック・グ ローブ座 他
H. 8. 10/30-31	ハムレットの新聞	竹屋啓子振付 小椋康子演出	竹屋啓子CDC	小椋康子 大西いづみ	北沢タウンホール
H. 8. 11/4	ハムレット他		ダリオ・ボニッツイのThe Acting Society	ダリオ・ボニッツイ 豊福由美	武蔵野芸能劇場
H. 8. 12/16-25 今	<少年倶楽部>ハムレットは	三ツ矢雄二脚本・演出	MITSUYA PROPECT	金子幸伸 藤田秀行	シアターVアカサ カ

年月	題名	翻訳・演出等	劇団・製作・主催	主な配役	劇場
H. 9. 1/10-21 [1997]	ハムレット	松岡和子訳 グレッグ・デール演出	俳優座	ハムレット たらしま昌紀 オフィーリア 西田有希	パナソニック・グ ロープ座
H. 1. 31-2/3	仮名手本ハムレット	堤春恵作・脚本 末木利文演出	木山事務所プロデ ユース	市川隼藏 (ハムレット) 藤木孝	東京芸術劇場
H. 9. 2/5-16	あ？！それが問題だ	江守徹作・演出	文学座 松竹	丈太郎 (ハムレット) 白鳥哲 玲志 (オフィーリア) 江守徹	サンシャイン劇場
H. 9. 4/3-13	ローゼンクランツとギルデン スターンは死んだ	スツパード作 松岡和子訳 鶴山仁演出	博品館劇場 メジャーリーグ	ローゼンクランツ 古田新太 ギルデンスターン 生瀬勝久	博品館劇場
H. 9. 6/26-29	ハムレット [オペラ]		東京オペラ・プロ デュース		パナソニック・グ ロープ座
H. 9. 9/4-15	薬武列土倭繪	仮名垣魯文翻案 河竹登志夫 監督 織田紘二脚本・演出	松竹 サンシャイン劇場	葉叢丸 (ハムレット)・実刈屋姫 (オフィ ーリア) 市川隼五郎	サンシャイン劇場
H. 9. 10/31 -11/5	墓掘りたちのハムレット	岡本さとの脚本・演出	三都企画プロデュ ース	仲本工事 いぐち武志	シアターVアカサ カ
H. 9. 10/31 -11/18	ハムレット	G. プロック脚本・演出	サンシャイン劇場 松竹	ハムレット 麻美れい オフィーリア 高橋かおり	サンシャイン劇場
H. 9. 11/1-3	ハムレット	小田島雄志訳 川崎浩幸・渡利駿演出	星座	川崎浩幸 手塚美南子	梅ヶ丘BOX
H. 10. 3/2-29 [1998]	ハムレット	松岡和子訳 蜷川幸雄演出	銀座セゾン劇場	ハムレット 真田広之 オフィーリア 松たか子	銀座セゾン劇場
H. 10. 5/29	ハムレット [ロック・オペラ]		中野サンブラザ	ハムレット HAKUEI	中野サンブラザ
H. 10. 8/6-11	ハムレット	小田島雄志訳 野伏翔演出	夜想会	宮内敏士 久我陽子	紀伊國屋サザンシ アター
H. 10. 9/2-6	どさ回りのハムレット	志村智雄演出	俳小	荒川ヒロ子 堀越健次	ジェルスホール
H. 10. 9/2-6	ハムレット	福田恆存訳 末木利文演出	サンシャイン劇場	ハムレット 市川隼五郎 オフィーリア 奥菜恵	サンシャイン劇場
H. 10. 10/31- 11/1	ハムレットマシーン	ハイナー・ミュラー作 岡本章演出	練肉工房	岡本章 川手鷹彦	世田谷パブリック ホール
H. 10. 11/15- 23	ONLY ONE シェイクスピア 37 ハムレット/テンバスト/ロミオとジュリエット/ 他	彩乃木崇之演出	アカミツ・シェイクスピア カンパニー	彩乃木崇之 永田陽二	銀座みゆき館劇場
H. 10. 12/18- 21	ハムレット	江戸馨訳・演出	東京シェイクスピア カンパニー	牧野久美子 清水まゆみ	ジャン・ジャン
H. 11. 1/25-28 [1999] 29	世にも憂鬱なハムレットたち	K. プラナー作 太田直子訳 うつやまきよつぐ演出	パフォーミング・ アート・センター	第一期生特別生一月公演	ブディストホール
H. 11. 2/3-23	胡桃——私が愛したハムレッ ト	横山一真作 大和田伸也演出	グローブ座プロデ ユース	榎木孝明 旺なつき	東京グローブ座
H. 11. 4/16-19	ハムレット	R. ウィルソン演出	シアター・オリ ンピックス	ハムレット R. ウィルソン	静岡芸術劇場
H. 11. 4/17 4/23-25	オテロ/ハムレット/ロミオ とジュリエット		ルジマトフのすべ て'99	F. ルジマトフ	桐生市市民文化 東京芸術劇場()
H. 11. 5/3	ハムレット	元永五構成・演出	NOTTLE Theatre Company	洪福誠慶 李枝現	利賀野外劇場

年月	題名	翻訳・演出等	劇団・製作・主催	主な配役	劇場
H. 11. 5/8-30	フォーティンブラス		T. Y. ハーバー シアター		天王洲アイル
H. 11. 5/8-30	フォーティンブラス		T. Y. ハーバー シアター		天王洲アイル
H. 11. 6/4-13	ハムレット	ローレンス・ボズヴェル演出	カマサ立劇場 ヤング・ギャグ劇場	ハムレット ホル・リス オフィーリア メー・ホップス	東京グローブ座
H. 11. 7/9-11	人生はTO BE? or NOT TO BE? 「世は憂鬱かいハムレットたちより」	佐川大輔構成・演出	NEU (ヌー)	稲田栄二 大坂陽子	ザムザ阿佐ヶ谷
H. 11. 7/23-24	ハムレット	李潤澤 (イ・ユンテク) 脚 色・演出・芸術監督	ヨンヒダンコリベ	ハムレット キム・キョンイク オフィーリア イ・ユンジユ	東京芸術劇場
H. 11. 8/27-29	フォーティンブラス		きぜん	伊藤則幸 大坪靖幸	新宿シアターモリ エール
H. 11. 9/8-15	ハムレットのための特別席	田窪一世作・演出	座・キュービー・ マジック	女鹿伸幸 横田エイジ	駅前劇場
H. 11. 9/10-11	どわ回りのハムレットー一兄 殺しの報い	宮下啓三訳 志村智雄演出	俳小	荒川ヒロ子 堀越健次	東京芸術劇場
H. 11. 9/28	オセローのハムレットによる ジュリエット	橋沢進一作 さかづめあつし演出	あぁルナティック シアター	橋沢進一 佐々木輝之	東京芸術劇場
H. 12. 1/12-16 [2000]	ハムレットクロウン	川村毅訳・演出	第三エロチカ	宮島健 吉村恵美子	アサヒスクエアア A
H. 12. 1/27-29	AGUA GALA版 ハムレットマシーン	ハイナー・ミュラー作 ARISAKA 演出・振付	AGUA GALA	鏡日里子 国吉忍	SPACE ZERO
H. 12. 2/2-6	ハムレットゲームIII	猪俣哲史演出	MATRIX	岩瀬真教 岩瀬智	ザ・ポケット
H. 12. 2/4-13	ローゼンクランツとギルデン スターンは死んだ	トム・ストッパード作 松岡和子訳 轟山仁演出	メジョーリーグ	古田新太 生瀬勝久	シアターコクーン
H. 12. 2/23-27	新世紀版ハムレットー一世紀 末を穿つ	今和朗訳 今井耕二演出	今☆和朗プロデュ ース	樋渡宏詞 久本朋子	萬スタジオ
H. 12. 4/28-30	ハムレット	R. ウィルソン演出	Shizuoka春の芸術 祭	R. ウィルソン	静岡芸術劇場
H. 12. 4/30, 5/1	ハムレット	李潤澤演出	演劇団コリベ		新利賀山房
H. 12. 5/23-28	ハムレットの楽屋	L. ベロン作 大間知靖子訳・演出	円	平木久子 三谷昇	俳優座劇場
H. 12. 5/23- 7/9	ハムレット	きだつよし作・演出	TEAM発砲・B ・ZIN	平野くんじ 工藤順夫	三鷹芸術文化セン ター星のホール
H. 12. 9/29- 10/1	オフィーリアのいるキッチン	杉浦久幸作 田村連演出	ちかこらあどべん ちやあ	岡崎ちか子 小田カヅマサ	銀座みゆき館劇場
H. 12. 10/29	クロードィアス対ハムレット [ハレエ]	多胡寿伯子演出・振付	多胡寿伯子創作パ レエ	尾本安代 張衛強	府中の森芸術劇場 どりーむホール

*東京近辺の上演を中心に取り上げた。

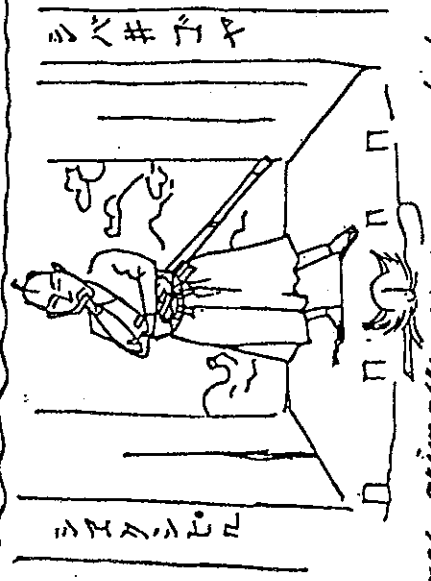
To be, or not to be—that is the question.
 Whether 'tis nobler in the mind to suffer
 The slings and arrows of outrageous fortune
 Or to take arms against a sea of troubles
 And by opposing end them? To die, to sleep;
 No more? And by a sleep, to say we end
 The heart-ache and the thousand natural
 shocks
 That flesh is heir to. 'Tis a consummation
 Devoutly to be wished. To die, to sleep.
 To sleep—perchance to dream. Ay, there's
 the rub.
 For in that sleep of death, what dreams may
 come
 When we have shuffled off this mortal coil
 Must give us pause. There's the respect
 That makes calamity of so long life.
 For who would bear the whips and scorns of
 time,
 Th'oppressor's wrong, the proud man's
 contumely,
 The pangs of despised love, the law's delay,
 The insolence of office, and the spurns
 That patient merit of th'unworthy takes,
 When he himself might his quietus make

80
 With a bare bodkin? Who would these
 fardels bear,
 To grunt and sweat under a weary life,
 But that the dread of something after death—
 The undiscovered country, from whose bourne
 No traveller returns—puzzles the will,
 And makes us rather bear those ills we have
 Than fly to others that we know not of?
 Thus conscience does make cowards of us all.
 And thus the native hue of resolution
 Is sicklied o'er with the pale cast of thought,
 And enterprises of great pitch and moment
 With this regard their currents turn awry
 And lose the name of action. — Soft you now,
 The fair Ophelia—Nymph, in thy orisons
 Be all my sins remembered?

79

原文 (3幕1場) Alexander, Nigel editor. Hamlet. The Macmillan Shakespeare.
 London & Basingstoke: Macmillan Education Ltd, 1973.

Extract from the new Japanese Drama
 Hamurutei san, "Daimonkai no Kami," proving
 the plagiarisms of English literature of the 16th
 Century



Arimas, arimasen, are wa nan deska :-
 Mushi motto daijoubu atama naka, itai arimas
 Nawa mono to ha ichiban wari takusan ichiban;
 Arui ude torimas muko mudo koto umi,
 Sookte, bokkyo itashimas o shunai? Shundayi; neri
 Mada; - soekata, neri de hanashi mo yonoshi
 Koforo itai to iben mainishi bonkoty
 Uchi ototan arimas. sore wa dekinashita mono
 Takusan shimeshita, Shundayi's - neri, -
 Neru! okata nise haikin, sayo akira shoki
 Seranpan?
 Kara ano shundayi no neri, nani nise haikin
 dekinas
 Kono nagai shundayi mono piggy-shimashita,
 Shoki mate seijo:

[[THE JAPAN PUNCH. Yokohama] 明治七年(一八七四)一月]

Yes valet, et plaudite
 Anata syonare, soshite te pompon-

存ふるか……存へぬか……それが疑問ぢや、残忍な運命の矢石を只管堪へ
 忍んでをるが大丈夫の志か、或は海なす艱難を逆へ撃つて、睡うて根を
 絶つが大丈夫か？ 死は……ねむり……に過ぎぬ。眠つて心の痛が去り、
 此肉に附纏うてをる千百の苦が除かるものならば……それこそ上もな
 う願はしい大終焉ぢやが……死は……ねむり……眠る！ あゝ、おそら
 くは夢を見う！……そこに障礙があるわ。此形骸の煩悩を悉く脱した時
 に、其醒めぬ眠の中に、どのやうな夢を見るやら、それが心懸りぢや。憂
 世の苦厄を自分と長びかすも、畢竟は此故ぢや。短剣の只一突で、易々と
 此生が去らるるものを、誰がおめくしと忍んでをらうぞ？ 世の凌辱や侮
 辱を……虐主の非道や驕る奴隷の横柄や成就はぬ戀の切なき長びく裁判
 のもどかしさ、官吏の尊大面、堪忍すればよいことにして君子大人をも虐
 ぐる小人共が無禮ななどを……死後の危懼でもなくば……誰が此感な世
 に汗を流し伸吟きながら、此様な重荷を忍んでをらうぞ？ 曾て一人の旅
 人すらも歸つて來ぬ國が心元ないによつて、知らぬ火宅に往くよりはと現
 在の苦を忍ぶのがな。……まづ此様に、良心は人を臆病者にならす。ま
 つた決心の本の色は蒼白い憂慮に白ちやけ、如何な大事の企圖も、このゆゑ
 に逸れ、果は實行の名を失ふ。……(オフィリアに目を着けて)や、まて暫し！
 オフィリヤぢやな！……(オフィリアに
 對しなう、姫神、子が罪の消滅をも
 祈り添へてたもれい。

ハムレット このままでいいのか、いけないのか、それが問題だ。
 どちらがりつばな生き方が、このまま心のうちに
 暴虐な運命の矢弾をじつと耐えしのおことか、
 それとも寄せくる怒濤の苦難に敢然と立ちむかい、
 闘つてそれに終止符をうつことか。死ぬ、眠る、
 それだけだ。眠ることによつて終止符はうてる、
 心の悩みにも、肉体につきまとう
 かずかずの苦しみにも、それこそ願つてもない
 終わりではないか。死ぬ、眠る、
 眠る、おそらく夢を見る。そこだ、つまづくのは、
 この世のわずらいからかろうじてのがれ、
 永の眠りにつき、そこでどんな夢を見る？
 それがあるからためらうのだ、それを思うから
 苦しい人生をいつまでも長びかすのだ。
 でなければだれががまんするか、世間の鞭うつ非難、
 権力者の無法な行為、おこるものの侮蔑、
 さげすまれた恋の痛み、裁判のひきのぼし、
 役人どもの横柄さ、りつばな人物が
 くだらぬやつ相手にじつとしのお屈辱、
 このような重荷をだれががまんするか、この世から
 短剣のただ一突きでのがれることができるのに。
 つらい人生をうめきながら汗水流して歩むのも、
 ただ死後にくるものを恐れるためだ。
 死後の世界は未知の國だ、旅立つたものは一人として
 もどつたためしがない。それで決心がにぶるのだ、
 見も知らぬあの世の苦勞に飛びこむよりは、
 慣れたこの世のわずらいをがまんしようと思ふのだ。
 このやうにも思ふ心がわれわれを臆病にする、
 このやうに決意のもつて生まれた血の色が
 分別の病み蒼ざめた塗料にぬりつぶされる、
 そして、生死にかかわるほどの大事業も
 そのためにいつしか進むべき道を失い、
 行動をおこすにいたらず終わる——待て、
 美しいオフィリアだ。おお、森の妖精、その祈りのなかに
 この身の罪の許しも。

小田島雄志訳『ハムレット』(シェイクスピア全集1)白水社、昭和48年

ハムレット 生きてとどまるか、消えてなくなるか、それが問題
 だ。
 どちらが雄々しい態度だろう、
 やみくもな運命の矢弾を心の内でひたすら堪え忍ぶか、
 艱難の海に刃を向け
 それにとどめを刺すか。死ぬ、眠る——
 それだけのことだ。眠れば
 心の痛みにも、肉体が受け継ぐ
 無数の苦しみにもけりがつく。それこそ願つてもない
 結末だ。死ぬ、眠る。
 眠ればきつと夢を見る——そう、厄介なのはそこだ。
 人生のしがらみを振り捨てても
 死という眠りのなかでどんな夢を見るか分からない。
 だから二の足を踏まずにいられない——それを考えるから
 辛い人生を長引かせてしまふ。
 でなければ、世間が鞭打つあざけりをいつたい誰が耐えるだろ
 う。
 権力者の迫害や尊大な者の傲慢無礼、
 報われない恋の苦しみ、裁判の遅れ、
 威張りちらす役人、優れた人物が権え忍ぶ
 くずどもの蔑み。
 短剣でひと突き、
 我と我が手ですべてが清算できるというのに。
 苦勞ばかりの人生の重荷を
 背をくいしはり汗水たらして誰が耐えるというのだ。
 ただ死後にくるものが怖いからだ。
 旅立った者は二度と戻つてこない未知の國。
 その恐怖に決意はくじけ、
 見ず知らずのあの世の苦難に飛び込むよりも
 馴染んだこの世の辛さに甘んじようと思わせる。
 こうして意識の働きが我々すべてを臆病にする。
 こうして決意本来の血の色は
 蒼ざめたもの思ひの色に染まってしまう。
 そのため、のるかするかの大事業も
 潮時を失い
 実行にいたらず終わるのだ。待て、
 美しいオフィリア！ 森の妖精、
 僕の罪の赦しもその祈りにこめてくれ。

8. 参考文献

- (A) 辞典・事典・書誌類 (抄)
(B) シェイクスピア映画研究関係 (抄)
(C) 『ハムレット』研究書 (抄)
- (A) 辞典・事典・書誌類 (抄)
小津次郎編『シェイクスピア・ハンドブック』南雲堂 昭和44年11月
倉橋健編『シェイクスピア辞典』東京堂出版 昭和47年8月
為房裕子, 中島厚子編『日本におけるシェイクスピア書誌』女子聖学院短期大学 昭和59年3月
福田恒存監修『シェイクスピア ハンドブック』三省堂 昭和62年9月
佐々木隆編『日本シェイクスピア総覧』エルビス 平成2年4月
高橋康也編『シェイクスピア・ハンドブック』新書館 平成6年12月
佐々木隆編『日本シェイクスピア総覧2』エルビス 平成7年4月
小津次郎編『シェイクスピア作品鑑賞事典』南雲堂 平成9年5月
ケネル, ジョンソン/荒木正純訳『シェイクスピア 人名事典』東洋書林 平成9年11月
高橋康也監修/佐々木隆編『シェイクスピア研究資料集成』(別巻1) 日本図書センター 平成10年6月
高橋康也監修/佐々木隆編『シェイクスピア研究資料集成』(別巻2) 日本図書センター 平成10年6月
出口典雄監修/佐藤優編『一冊でわかるシェイクスピア 作品ガイド37』成美堂出版 平成12年9月
高橋康也, 大場建治, 喜志哲雄, 村上淑郎編『研究社シェイクスピア辞典』研究社 平成12年11月
荒井良雄, 大場建治, 川崎淳之助編『シェイクスピア大事典』日本図書センター 平成14年10月
- (B) シェイクスピア映画研究関係 (抄)
荒井良雄『シェイクスピア劇上演論』新樹社 昭和47年1月
マンヴェル/荒井良雄訳『シェイクスピアと映画』白水社 昭和49年4月
荒井良雄『イギリス演劇と映画』新樹社 昭和57年11月
荒井良雄『英米文学映画化作品論』新樹社 平成8年5月
森祐希子『映画で読むシェイクスピア』紀伊國屋書店 平成8年5月
狩野良規『シェイクスピア・オン・スクリーン』三修社 平成8年10月
高橋康也監修/佐々木隆編『シェイクスピア研究資料集成』(第30巻, シェイクスピア映画評集) 日本図書センター 平成10年6月
狩野良規『映画になったシェイクスピア』三修社 平成13年10月
- (C) 『ハムレット』研究書 (抄)
平田元吉『ハムレット劇研究』富山房 明治43年7月
木村鷹太郎『沙翁のハムレット及其東洋的材料』名著評論社 大正4年3月
ツルダナーフ/宮原晃一郎訳『ハムレットとドン・ホキータ』春秋社 大正9年12月
西村光治『ハムレットと道念』自家版 昭和8年2月
中西信太郎『ハムレット』弘文堂書房 昭和14年11月
北条元一『ハムレット論』白揚社 昭和25年4月
中西信太郎『ハムレット序説』研究社 昭和25年6月
大山俊一『ハムレットの悲劇』篠崎書林 昭和38年9月
ヴィゴキニー/峯俊夫訳『ハムレット その言葉と沈黙』国文社 昭和45年8月
河竹登志夫『日本のハムレット』南窓社 昭和47年10月
三好弘『ハムレット』公論社 昭和51年12月
佐藤三武朗『ハムレット』(上) 栄光出版 昭和53年4月
佐藤三武朗『ハムレット』(下) 栄光出版 昭和53年5月
劇団俳優座編『ハムレット上演資料』劇団俳優座 昭和55年1月
田中重弘『ハムレット』の謎』講談社 昭和56年8月
武並義和『シェイクスピア 二大悲劇論「オセロウ」と「ハムレット」』山口書店 昭和57年6月
スコフィールド/岡三郎, 北川重男訳『ハムレットの亡霊』国文社 昭和58年6月
関廣野『ハムレットの方へ』北斗出版社 昭和58年11月
ハリス/植田祐次, 谷口正子, 岡三郎訳『ハムレット』国文社 昭和59年12月
ジョンズ/栗原裕訳『ハムレットとオイディプス』大修館書店 昭和63年3月
笹山隆編『ハムレット読本』岩波書店 昭和63年4月
ジェンキンス/武並義和訳『ハムレット』序論』英宝社 昭和63年10月
グランヴィル・バーカー/臼井義隆訳『ハムレット』早稲田大学出版部 平成3年3月
後藤武士『ハムレット研究』研究社 平成3年9月
トレヴィン/島川聖一郎訳『ハムレット劇場』玉川大学出版部 平成5年3月
宮本正和『ハムレット』こびあん書房 平成8年5月
ロバートソン/宮本和憲, 宮本和憲訳『ハムレット』によせる疑問』クリエイトコハヤシ 平成9年6月
シュミット/初見基訳『ハムレットもしくはへかべ』みず書房 平成10年6月
高山浩子『ハムレット劇の人々』こびあん書房 平成10年6月
大井邦雄編『「ハムレット」への旅立ち』早稲田大学出版部 平成13年1月
仁木久恵『漱石の留学とハムレット 比較文学の視点から』リバー出版 平成13年4月
河合祥一郎『ハムレットは太っていた!』白水社 平成13年7月